

1. 酒類事業者向け補助金 6.0億円（6.0億円）

- ①ブランディングやインバウンドによる海外需要の開拓等、
日本産酒類の海外展開に向けた取組を支援
- ②商品の差別化や販売手法の多様化等による経営改革・構造
転換を図る取組を支援



（①の取組例）フランスでチーズと日本酒のペアリング提案セミナーを開催



（②の取組例）地域の食材と組み合わせた自社ワインのPR

2. 輸出促進等による酒類業振興 16.0億円（15.5億円）

日本酒造組合中央会に対する補助金
【7.7億円】（6.2億円）を含む。

（1）海外販路開拓支援

- ①海外大規模展示会への出展支援や
酒類輸出コーディネーターによる商談会の開催等
- ②酒類製造者と輸出卸・商社とのマッチングや
海外販路開拓を支援する日本産酒類輸出促進
コンソーシアムの運用
- ③輸出先国の消費者の嗜好や販路開拓手法等に
係る海外市場調査・情報収集

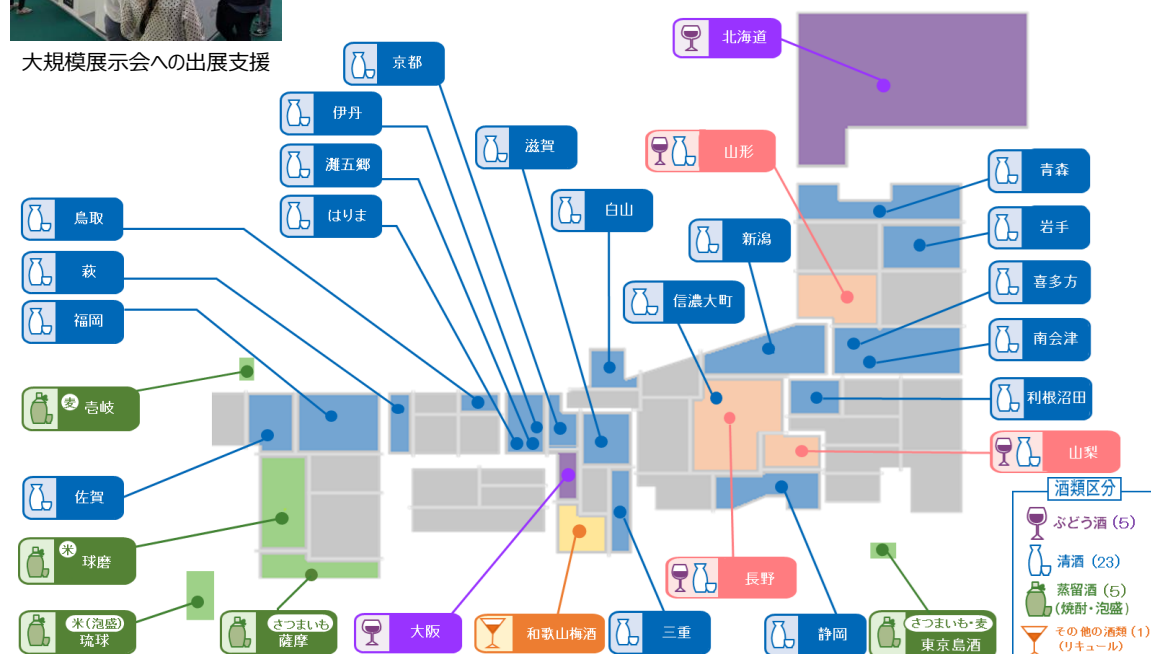


大規模展示会への出展支援

（3）ブランド価値向上支援

地理的表示（GI）のPRや活用促進

【酒類の地理的表示マップ（令和7年10月現在、34GI）】



（2）日本産酒類の魅力発信等

- ①国酒の文化的な価値や魅力の発信につながる、
国際空港国酒キャンペーン等の実施
- ②日本酒フェアの開催
- ③「伝統的酒造り」を次世代に承継していくための
事業承継支援事業

※ GI「日本酒」について、原料の米に国内産米のみを使い、かつ、日本国内で製造された清酒のみが、「日本酒」を名乗ることができます。

（注）この他に（独）酒類総合研究所に対する運営費交付金【10.2億円】（9.6億円）（高付加価値化や差別化に資する研究、技術の伝承、情報発信等）を計上。